

平成17年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

社 会 ・ 市 民 連 合 宇 佐 美 洋 二 朗

共 産 党 加 賀 屋 千 鶴 子

秋 水 会 榎 清

1 市長の政治姿勢について

- (1) 17年度は新市建設の実質的なスタートの年となるが、市長として、2期目はどのようなまちづくりを目指すのか
- (2) 少子高齢社会にあって、若者が本市に定住し得る環境づくりに力点を置くべきではないか
- (3) 「子どもを産み、育てる環境づくりについては、特に施策横断的な調整が必要なことから、全庁的な推進体制を整える」としているが、どのような構想で推進していくのか

2 市町合併後の諸問題について

- (1) 都市内地域分権の推進について
 - ア (仮称)市民サービスセンターの基本構想について
 - イ (仮称)市民サービスセンターと河辺、雄和市民センターとの整合性について
 - ウ (仮称)市民サービスセンターと地域センター・コミュニティセンター・公民館との位置づけや整合性について
- (2) 地域個性発揮事業について
- (3) 河辺・雄和地域の公共施設の利活用について
- (4) 地域振興局、市民センター所長及び市民センター各班と本庁の他部署の事業執行における役割について

3 秋田市総合振興公社について

- (1) 秋田市総合振興公社設立の経緯について
- (2) 秋田市総合振興公社はどのような理念で何を目指し、どのような業務を行うのか
- (3) 解散・統合される既存の公社職員の取り扱いについて
- (4) 既存公社の解散・統合による再編で事業収支見込みはどのようなのか

4 介護保険制度の見直しについて

- (1) 2005年の制度見直しの主な改正点は何か
- (2) 地域包括支援センター（仮称）について
 - ア 地域包括支援センター（仮称）の役割は何か
 - イ 本市は地域バランスを含めてどのような計画が想定されるのか
 - ウ 本市として実施に当たっての問題点は何か

5 佐竹史料館の改築について

- (1) 佐竹史料館改築検討委員会の協議内容と構想について
- (2) 総合的に文化、歴史などを集積する施設として日赤・婦人会館跡地への建設は考えられないのか
- (3) 平成19年秋田わか杉国体までの完成を目指すべきと思うがどうか

6 環境問題について

- (1) 環境都市あきた宣言について
 - ア 京都議定書の発効を受けて、環境都市あきた宣言の取り組みがどのように変わるのか
 - イ 地域環境活動推進事業の成果と今後の対応について
 - ウ 廃棄物減量等推進審議会から答申された「ごみ有料化」をどのように受けとめているのか
- (2) 生活排水処理について
 - ア 公共下水道、農業集落排水及び浄化槽の3事業の一元化について
 - イ 向浜事業所の今後について
 - ウ 県で行っている秋田湾・雄物川流域下水道との連携について

7 消防関係について

- (1) 消防団の組織多様化について
- (2) 掘削現場の防災に対する指導はどのようになっているのか

(3) 市町合併記念として、消防団の操法大会を河辺・雄和地域で実施してはどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 確実なコンプライアンス体制の確立について

2 市内経済の現状と景気雇用対策について

(1) 市内経済の現状をどう認識しているのか

(2) 本市の投資的経費から見た経済対策はどうなっているのか

(3) 若者の就職支援と雇用拡大について、どのように進めているのか

(4) 改正高齢者雇用安定法にはどう対応するのか

(5) 公共工事等において、建築技能士の有資格者の活用はどのようになっているのか

3 市有財産の管理と運用について

(1) 行政財産について

ア 15年度バランスシートに示されている有形固定資産の中で、道路、河川、橋りょうを除いた資産はどのような評価になっているのか、また、一人当たりではどうか

イ 各地域センター及びコミュニティセンターの管理はどうなっているのか

ウ 行政目的として公社に先行取得させた土地の活用はどうなっているのか

エ 市民センターとして活用している旧河辺町・雄和町の庁舎をどのように活用していくのか

(2) 普通財産について

ア 本市の普通財産の規模と管理状況はどうなっているのか

イ 個人に貸し出している宅地の貸付料の設定基準、支払い状況及び今後の見通しはどうなっているのか

ウ 土地売却の際の評価や価格決定及び手続きはどう進められるのか

エ 合併により旧河辺町・雄和町から引き継がれた普通財産の内容は
どうなっているのか

(3) 市有墓地管理について

ア 市有墓地管理上、飯島長野墓地管理組合から要請されている境界
保全対策にはどう対応するのか

(4) 法定外公共物譲与申請事業での申請作業を終えたことにより、対象
となる公共物が市に譲渡される見込みであるが、当該公共物の機能と
財産管理及び土地の確定を含めてどう考えていくのか

(5) 公用車管理について

ア 集中管理している公用車の管理状況と経費節減対策はどうなって
いるのか

イ 黒塗りの公用車の管理状況はどうなっているのか

4 安全な市民生活の確立に向けた課題の解消について

(1) 交通問題について

ア 交通バリアフリー法による対策について、2010年までの目標達成
に向けた本市の進捗状況と見通しはどうか

イ ユニバーサルデザインに対する本市の考え方はどうか

ウ 交通安全運動の推進について、各種団体とのネットワーク化によ
る意識啓発をどう進めているのか

エ 交通指導隊の果たしている役割の大きさを踏まえ、支援と育成に
努めるべきと思うがどうか

(2) 防災対策について

ア 新潟県中越地震や合併等により、平成16年3月に修正した秋田市
地域防災計画を見直す必要はないのか

イ 新潟県中越地震を例に国の生活再建支援と県もしくは本市のかさ
上げはどうなっているのか、また、制度の充実を働きかけるべきと
思うがどうか

ウ 指揮権を含めて、緊急消防援助隊とはどのようなかわりにある

のか

5 林業政策について

(1) 国は森林環境税導入による林業政策の実施を急ぐべきと思うが、市としてどう考えているのか

(2) 資源循環型社会構築に向けて、森林整備と連動させて木質バイオマス利用を進めるべきと思うが、どう考えているのか

(3) 本市の林業政策について

ア 森林の癒し効果を享受できる先進事例への支援とセラピー基地制度を導入すべきではないか

イ 民有地の間伐等による育林をどう進めていくのか

ウ 地場産材の需要を喚起し、公共施設において使用すべきと考えるがどうか

エ 林道管理人の選任基準と選任後の指導及び報告義務について

1 市長の政治姿勢について

(1) 陳情政治と国庫補助金制度のあり方に関する認識について

(2) 地方分権論議について

ア 三位一体改革における税源移譲や市町村合併の推進により、地方分権論議がトーンダウンしていると感じるがどうか

イ 分権時代にふさわしい本市のあり方、独自性の発揮などについてどのように考え、どのように議論をしていくのか

(3) 生活保護費の負担率カットなど、今後の三位一体改革の行方に伴う地方六団体の動向についてどのように考えているのか

2 新庁舎の建設について

(1) 分館及び福祉棟を含めた本庁舎の延命化に係る経費はどれくらいになっているのか、また、教育委員会の庁舎分散による賃借料は年間どれくらいになっているのか

(2) 19年の秋田国体終了後、早期に新庁舎建設に着手する考えはないか

3 財政の諸課題について

(1) 特別会計のあり方について

ア 国の特別会計の見直しに関する認識について

イ 本市の特別会計のあり方について、国から見直し等の指導はなかったのか、また、一般会計との統廃合など、本市独自の検討はしないのか

(2) 16年度末における財政調整基金及び減債基金の現在高はどれくらいになるのか、また、本市のような規模では財政調整基金及び減債基金の積立額はどれくらいが適切と考えているのか

(3) 16年度末における市債残高はどれくらいになるのか、また、本市の行財政改革は順調に推移しているにもかかわらず、市債残高がふえ続

けている理由は何か、さらに、その状況をどのように認識し、今後の対応をどのように考えているのか

- (4) 政府資金や公庫資金に係る既発債の繰上償還の条件はどのようになつており、活用についてどのように認識しているのか、また、条件緩和について国に対して要望すべきと思うがどうか

4 17年度予算編成等について

- (1) 最近の社会経済情勢や制度改革をどのように分析し、どのような見通しを立てて17年度予算を編成したのか

- (2) 17年度予算における三位一体改革の影響額は、どの程度と考えているのか

- (3) 市町合併による市民サービスの低下を防ぐため、どのようなことに配慮して17年度予算を編成したのか

- (4) 今後多額の経費を要する公共事業は予定されているのか

- (5) 自主財源の確保について

ア 定率減税の半減及び廃止や所得控除額の見直しに伴い、税収増をどれくらいと見込んでいるのか

イ 未納対策として全庁横断的な協議の場が持たれているのか、持たれているとすれば、どのような協議がなされ、どのような徴収体制が構築されているのか

ウ 市税や利用料等の滞納を解消するため、徴収員をふやす考えはないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 政府税制調査会では、家計所得が減少している現状にあって、定率減税の縮減・廃止や消費税の引き上げなどの増税路線が景気と経済に及ぼす影響について、どのように検討したのか
- (2) 増税によってもたらされる国民・市民の痛みを政府税制調査会の中でどのように主張し答申に反映させたのか
- (3) 国民・市民に一層の負担を押しつける小泉内閣の増税路線について、どのように考えているのか

2 介護保険制度の見直しと本市の独自施策について

- (1) 「新予防給付」や介護保険施設などのホテルコスト徴収の見直しにより、現在介護保険制度が抱えている諸課題を解決できると考えているのか
- (2) 在宅介護の負担軽減に係る本市独自の施策について
 - ア ショートステイの緊急用ベッドを市の責任で一定数確保すべきと思うかどうか
 - イ 冬期間、ホームヘルプサービスを上乘せすべきと思うかどうか
- (3) 国庫負担の引き上げを国に対し強く働きかけるべきと思うかどうか
- (4) 特別養護老人ホームの増設を進める考えはないか

3 次世代育成支援行動計画について

- (1) この行動計画で少子化問題の改善に向けてどのように取り組もうとしているのか、また、基本理念には、子育ての条件整備の方向性や市が主体となって推進することを明示すべきと思うかどうか
- (2) 実態に即した行動計画にするために、通常保育の整備目標を引き上げて待機児童の解消を図るとともに、全体の整備目標を見直し修正すべきと思うかどうか

(3) 地域子育て支援センターを各地域に設置し、子育て支援ネットワークづくりなどの施策を進めるとともに、地域の実情に応じた事業を展開し、地域子育て支援の充実を図るべきと思うがどうか

(4) 保育環境の整備について

ア 総合施設については、国や市のコスト削減策としての幼保一体化ではなく、どの子供にも平等に必要な保育、教育の機会を保障する立場で検討すべきと思うがどうか

イ 河辺・雄和地域においては、保育所の入所基準をこれまでどおりとし、入所を希望する子供を受け入れるべきと思うがどうか

(5) 県の乳幼児医療費助成制度の見直しについて、どのように考えているのか、また、県が自己負担を導入しても、市単独で現行制度を維持していくべきと思うがどうか

(6) 行動計画の推進・調整機能を持たせた機構・組織を立ち上げるべきと思うがどうか

4 北野田公園（仮称）整備事業について

(1) 市長は、合併協議会の会長として、もっと早い時期に本事業の見直しなどを検討し、市町合併の矛盾を少なくすることや不要・不急の事業を廃止する努力をすべきだったと思うがどうか

5 指定管理者制度について

(1) 指定管理者制度導入の検討、また、導入した場合でも「住民の福祉の増進」という公の施設の基本的な立場を貫くべきと思うがどうか

(2) 事業者選定について

ア 利用者サービスを低下させない立場から、職員の削減や不安定雇用などにつながらないよう、職員の身分や労働条件などを協定書に明記させるべきと思うがどうか

イ 従来の受託者が指定を受ける場合であっても、これまでの実績やノウハウなどを十分調査して、問題があれば改善させるべきと思う

かどうか

(3) 管理運営の透明性と住民の意見が反映されるシステムづくりについて

ア 事業報告書の提出を義務づけ、市がチェックできるようにすべきではないか

イ 市長や議員の関係者、関連団体が経営する会社、法人の参入を規制すべきではないか

ウ 利用者や住民の声を聞き、適正な管理運営に反映させていくシステムを確立させるべきではないか

6 公共交通（バス）について

(1) 交通問題を単に「移動手段」の問題にとらえるのではなく、「まちづくり」の観点から地域の交通体系のあり方を含めて検討していくべきであると思うがどうか

(2) 公共交通（バス）の改善に当たっては、利用実態調査だけでなく、グループインタビューなどを行い、利用者ニーズにこたえられるよう努めると同時に、絶えず「評価と改善」を繰り返し、市民本位の取り組みにすべきと思うがどうか

1 農業試験場跡地の利用問題について

- (1) これまでの担当部の引き継ぎ状況はどうであったのか、また、今後どのような計画で進めようとしているのか

2 環境問題と森林問題について

- (1) 市民ボランティアなどが参加する森林管理を行う考えはあるのか
- (2) 市民に対して森林の大切さを理解してもらう具体的方策は、どのようになっているのか

3 木質バイオマスエネルギーの利用促進について

- (1) 利活用をどのように推進しようとしているのか
- (2) 松くい虫被害木を木質ペレット燃料として利活用することを、松くい虫対策の中で計画しているのか、また、その導入年度はいつか

4 木材利用促進に関する行事について

- (1) もっと市民に親しまれる内容に工夫する必要があると思うがどうか
- (2) 企画調整部が政策形成に携わるべきではないか

5 帰農時代への対策について

- (1) 新たに農業に携わろうとする人との協同運動を全国的規模で展開する企画力を持つべきと思うが、そのような構想はあるのか

6 ふるさと回帰について

- (1) 市有林を開放し、都会に住む人を呼び込むような政策を展開できないか

7 生ごみの堆肥化について

(1) 積極的に取り組む考えはないか

8 中央卸売市場の今後について

(1) 施設整備の短期・中長期対策はどうなっているのか

(2) 民営化または移転構想などは考えているのか

